

平成29年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

3月1日(水)

(1)	山崎	雄史	議員	(真誠会)P	1
(2)	尾倉	あき子	〃	(公明党)P	2
(3)	遠藤	恒司	〃	(未来市民)P	3
(4)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	4
(5)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)P	5
(6)	永井	俊作	〃	(未来市民)P	6
(7)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	9

3月2日(木)

(8)	尾仲	利治	〃	(民主連合)P	10
(9)	佐々木	敏	〃	(公明党)P	11
(10)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	13
(11)	中西	礼皇	〃	(未来市民)P	14
(12)	久枝	陽一	〃	(民主連合)P	15

3月3日(金)

(13)	松井	久美子	〃	(公明党)P	16
(14)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)P	17
(15)	国出	拓志	〃	(公明党)P	19
(16)	北川	貴則	〃	(未来市民)P	20

※ 順位については予定です。

平成29年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	山崎雄史(真誠会)
発言事項		<p>1 平成29年度当初予算の基本的な考え方について</p>	
		<p>(1) 住みたい、住み続けたいまちへ向けての中長期的な考え方について (2) 中核市にふさわしい明石の姿について (3) 明石の教育環境の充実について</p>	
		<p>2 市制施行100周年記念事業について</p>	
		<p>(1) 市制施行100周年記念事業の取り組み状況について (2) 明石城築城400年事業での兵庫県との連携について</p>	
		<p>3 市役所本庁舎について</p>	
		<p>(1) 建てかえの方向性を示す目途となる平成28年度末に当たり、どのような方向を考えているのか。</p>	

発言順位	2	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p>1 保育所の待機児童解消に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 昨年度に引き続き、1,200人の受入枠を新たに確保すると施政方針にあるが、どのように取り組むのか。</p> <p>(2) 保育の質の向上と保育士の確保はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 企業主導型保育事業のネットワーク構築に市が積極的に取り組むべきと考えるが、市の考えを聞く。</p> <p>2 市役所新庁舎建設について</p> <p>(1) 新庁舎建設に向けてどれぐらいの予算規模を考えているのか。</p> <p>(2) 本市では現在、庁舎建設基金として16億円を積み立てている。他市の事例では、年次計画的にもっと多くの額を積み立てているが、市の考えを聞く。</p> <p>(3) 国において(仮称)公共施設等適正管理推進事業債が新設され、地方債の充当率が引き上げられる見込みと聞いているが、活用についてはどのように考えているのか。</p> <p>(4) 厳しい財政状況の中、既存施設を活用するのか、新しく建てかえるのか、市の考えを聞く。</p>		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	遠藤 恒司(未来市民)
発言事項	<p>1 新年度予算とその取り組みについて</p> <p>(1) 新年度主要施策と長期総合計画の取り組みについて</p> <p>(2) 都市間競争でいかにすれば優位に立つことができるのか。</p>		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>1 高齢者施策について</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業が平成29年4月から始まるが、元気な高齢者が要支援に至らないための施策は考えているのか。</p> <p>(2) 高齢者が集える施設については、今後も利用できるように存続・拡充をするべきではないか。</p> <p>2 保育所待機児童対策について</p> <p>(1) 平成29年4月に待機児童の解消を実現するとしてきたが、どのような対策をされ、結果はどうだったのか。</p> <p>(2) 平成30年4月の待機児童の解消を目指すとしているが、どのような対策を考えているのか。</p> <p>(3) アンケート調査で多くの方が幼稚園での3歳児保育を望んでいるという結果が出たことについてどう考えているのか。</p> <p>(4) 待機児童解消のために、保育所分園、小規模保育事業所の3歳児の受け皿として、幼稚園の3歳児保育に取り組んではどうか。</p>		

(代表質問)

発言順位	5	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 中核市への移行について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 中核市移行に向けての市長の思いについて(2) 中核市移行に向けたこれまでの取り組みについて(3) 中核市移行に向けた今後の取り組み及び課題について(4) 中核市移行後の将来人口及び財政見通しについて		

発言順位	6	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>1 時間外勤務をなくす働き方改革について</p> <p>(1) 長時間労働並びに恒常的な時間外勤務の実情について (要旨) こども未来部や福祉部、教育委員会等で長時間労働並びに恒常的な時間外勤務が行われているが、今年度の実態はどうか。また、来年度の対策について聞きたい。</p> <p>(2) 36協定と時間外勤務の上限を月45時間、年360時間とする労働省告示について (要旨) 労働基準法第36条に基づき36協定を結べば、労働省告示の月45時間、年360時間を上限として、時間外勤務をさせることができるが、EUのように時間外勤務は原則ゼロを目指すべきだと思う。市の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 明石市特定事業主行動計画の具体化について (要旨) 次世代育成支援対策推進法や女性活躍推進法が相次いで制定され、本市も特定事業主行動計画を策定している。職員が、男女ともに継続して仕事と生活を両立するために、どのような職場づくりを目指しているのか聞きたい。</p>		
	<p>2 西明石活性化プロジェクトについて</p> <p>(1) 協働のまちづくりとしての西明石活性化プロジェクトについて (要旨) 平成23年4月に、地域住民と行政の協働のまちづくりとしての西明石活性化プロジェクト協議会が発足し、平成27年3月に「まちづくりの姿」が提言としてまとめられた。協働のまちづくりとしての西明石活性化プロジェクトについて認識を聞きたい。</p> <p>(2) 西明石のまちづくりと市役所新庁舎建設について (要旨) 市役所新庁舎建設基本構想(素案)では、分散化とスリム化を基本的な考え方としている。明石の中心部に位置し、新幹線やJRの新快速電車が停車する西明石駅の周辺は、新庁舎建設の有力候補であると思うが、現在の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 「西明石まちづくり計画策定委員会」の設置について (要旨) 「西明石まちづくり計画策定委員会」の設置について、地元から要望が出されており、西明石駅の建てかえやJR職員宿舎を含めた再開発、用途地域・建ぺい率・容積率の見直し等を協議していく必要があると思うが、市の考えを聞きたい。</p>		

発言順位	6	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(4) 建物密集地域における防災対策の早期実施について (要旨) 西明石駅南地区の建物密集地域は老朽化が進んでいる。新潟県糸魚川市の大火は他人事ではなく、また、地震災害も心配である。建物密集地域の防災対策を早急に実施すべきであるが、考えを聞きたい。</p>		
	<p>3 保育所の待機児童対策について</p> <p>(1) 保育士の確保並びに養成について (要旨) 都市部では保育士の確保が大きな問題になっている。新たな受入枠拡充に伴う保育士の確保並びに養成について聞きたい。</p> <p>(2) 同一労働同一賃金、保育士の月給30万円について (要旨) 保育士の確保には、抜本的な処遇改善が急務である。安倍首相が同一労働同一賃金制度を打ち出しており、保育士資格を有する臨時職員に対して、同一労働同一賃金制度の導入が必要である。 また、潜在保育士は約70万人と言われており、潜在保育士の職場復帰を促す必要がある。正規労働者の平均賃金は月額31万円と言われており、経験3年以上の保育士の月給は30万円以上にすべきであると考えますが、考えを聞きたい。</p> <p>(3) ゼロ歳児の両親等が育児休業を取得しやすい仕組みづくりについて (要旨) 2月1日時点の待機児童数は618人で、うちゼロ歳児が225人、36.4%を占めている。ゼロ歳児の両親等が育児休業を取得しやすい仕組みづくりに向けた改善が必要である。</p> <p>(4) 社会福祉法人の保育園の経営者が感じている不安解消について (要旨) 来年度も保育児童1,200人の受入枠拡充を目指すと聞いているが、社会福祉法人の保育園の経営者からは「今後、さらに少子化が進み、10数年後には経営が成り立たなくなるのではないか」との不安の声を聞いている。受入枠拡充の協力を求めるに当たり、その不安解消に向けた考えを聞きたい。</p>		
<p>4 子供達の学力保障について</p> <p>(1) ICT教育の充実について (要旨) 学校教育でICTを活用すれば、子供達の興味や関心を高める、授業がわかりやすくなる、子供達の主体的で協働的な学びが実現できるなどの効果が見込まれ、学力の向上につながると思われるが、考えを聞きたい。</p>			

発言順位	6	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(2) 教職員OB等の活用について (要旨) 教職員OB等の教育力を活用し、小学校の算数、理科等の専科担当教員の配置制度や、新任教職員のサポート制度を創設することについて考えを聞きたい。</p> <p>(3) コミュニティ・スクール制度について (要旨) 学校と保護者や地域の皆さんが知恵を出し合い、協働しながら子供達のための学校づくりを進め、教職員の負担を減らし、教職員が子どもに向き合い、子供達の学力向上を目指すべきだと考えるがどうか。</p>		

発言順位	7	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 斎場管理センターに係る諸問題について</p> <p>(1) 職員の重大な服務規律違反に関する調査について (要旨) 調査チームが設置されたが、その後の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 火葬場棟のひび割れ・漏水調査報告書について (要旨) 事実と異なる記述がある。</p> <p>(3) 火葬場棟の品質・性能・耐久性・瑕疵担保責任について (要旨) ひび割れ・漏水などの重大な瑕疵について、どのように対応したのか。雨漏りの発生から補修までに相当な時間がかかったが、遅れた原因は何か。耐久性に影響はないか。影響が確認された場合の対応はどうか。</p> <p>(4) 新火葬場棟新築工事に関する疑問点について (要旨) 新火葬場棟新築工事で行われた「六地藏廻りの改修」、「三角地の整備」について、市の認識を問う。</p> <p>(5) 水子供養碑の移設について (要旨) 適切に行われたのか、市の認識を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	尾 仲 利 治 (民 主 連 合)
発 言 事 項	1 本市の目指す文化政策について		
	(1) 本市の目指す文化政策とは何か。 (要旨) 本市には文化・スポーツ部があり、文化の薫り高いまち、そして、歴史と文化芸術のあるまちとよく言われるが、市民にとって文化の薫り高いまちとは、どのようなまちを目指しているのか、お伺いいたします。		
	2 児童生徒が生き生きと学ぶことができる環境づくりについて		
(1) 中学校給食について (要旨) モデル校3中学校での検証は、その後どのようなになっているのか。平成30年4月に、市内13中学校で一斉に給食が開始できるのか。施設、設備、人員の用意は整うのか。計画はどのようなになっているのか、お伺いいたします。			
(2) 空調設備について (要旨) 平成29年度から2年かけて各小学校普通教室に空調設備を設置していく計画であるが、教育施設全般や、各小中学校の将来を考えた設置計画になっているのか、お伺いいたします。			
(3) 学校司書について (要旨) 市内の各小中学校には司書教諭が配置されているが、各学校図書館には司書は配置されていない。平成29年度当初予算において学校司書を3名配置しようとしているが、どのように考えているのか、お伺いいたします。			
3 こども食堂について			
(1) こども食堂を開設する要件について (要旨) 各小学校区内に1カ所以上の開設を目指して取り組んでいるこども食堂について、校区によって実態にかなりの違いがあると聞くが、どのような状況になっているのか。こども食堂を開設するに当たり、県の保健所の求める要件と開設を目指す市民との間にギャップはないのか。また、こども食堂モデル事業の検証はどのようなになっているのか、お伺いいたします。			

発言順位	9	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>1 ごみ施策について</p> <p>(1) 市が回収する資源ごみの持ち去り状況はどうか。また、(仮称)ごみ持ち去り禁止条例を制定すべきであると考えているが、どうか。 (要旨) 市民の皆さんが出している資源ごみを持ち去る人がいる。市民の厚意を無にする行為で許せない。(仮称)ごみ持ち去り禁止条例を制定して、取り締まるべきだと思うが、どうか。</p> <p>(2) 年末年始の燃えるごみの回収について (要旨) 年末年始の燃えるごみについては、地域によって12月30日又は31日は回収している一方、年始については、三が日明けのできるだけ早い日に回収してほしいという市民の要望があり、それに応えるべきと考えているが、どうか。</p> <p>2 総合的な福祉施策の推進について</p> <p>(1) 後見支援センターの運営状況と今後の充実について (要旨) 平成27年4月に後見支援センターが開設し、判断能力が十分でない人の支援が始まった。対象者の増加も見込まれるが、後見支援センターの現状と今後の充実についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 地域総合支援センターの検討状況と今後の展開について (要旨) 従来の高齢者介護を中心とする地域包括ケアシステムを発展させた、支援を必要とするすべての人を対象とする地域総合支援センターに大いに期待しているが、現在の検討状況と今後の展開についてお伺いしたい。</p> <p>3 あらゆる人への配慮について</p> <p>(1) トランスジェンダーの人が困らないような対応が市役所・福祉避難所でできないか。 (要旨) トランスジェンダーの人(心と体の性別に差がある人)が困るのは、男女別トイレや更衣室である。市内の事業所等の手本になっていかなければいけない市役所において、性別に関係なく利用できるトイレや個室の更衣室を整備できないか。また、福祉避難所での対応も考えないか。</p> <p>(2) 障害者優待乗車券はバスとタクシーの選択制だが、この選択肢の中にガソリン券を入れないか。 (要旨) 障害者を自家用車で送迎している介護者もいる。障害者優待乗車券に、ガソリン券の選択肢を加えないか。</p>		

発言順位	9	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>4 高校生に対する消費者教育について</p> <p>(1) 高校生に対する消費者教育を今まで以上にすべきではないか。 (要旨) 成人年齢が18歳に引き下げられることになれば、消費者被害が拡大することが予想される。悪質商法等の業者は、変化に即応し、18歳に焦点を絞ってくると思われる。先手を打って、高校生が被害を受けないように今まで以上に消費者教育に力を入れな いか。</p>		

発言順位	10	議員名	家根谷 敦子 (スマイル会)
発言事項	<p>1 条例施行後の障害者施策の動きについて</p> <p>(1) 手話言語・障害者コミュニケーション条例について (要旨) 手話言語・障害者コミュニケーション条例が施行され、さまざまな取り組みが行われているが、現状と今後の本市の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 障害者配慮条例について (要旨) 障害者配慮条例が施行され1年が経過しようとしている。合理的配慮の提供を支援する助成制度の利用状況や、今後の本市の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>2 手話通訳者の有効活用について</p> <p>(1) 手話通訳者の有効活用や待遇について (要旨) 障害福祉課の窓口到手話通訳者が設置されているが、業務内容が来庁者の通訳のみに限定されており、待遇についても他市に比べると十分とは言えない。今後の業務内容の見直しや待遇改善についてお尋ねしたい。</p> <p>3 再犯の防止等の推進に関する法律の施行について</p> <p>(1) 本市における更生支援について (要旨) 平成28年7月に明石市更生支援ネットワーク会議が発足し、更生支援の取り組みが始まっているが、具体的な内容についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 啓発について (要旨) 7月が再犯防止啓発月間であるが、市民などへの啓発についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	11	議員名	中西 礼皇(未来市民)
発言事項	1 議案第8号 あかしこども広場条例の一部を改正する条例について		
	(1) 親子交流スペースの使用料を市内在住者と市外在住者で分けることについて (要旨) 使用料に差をつけるべきではない。差をつける理由、それに至った経緯、見込まれる収入の違いや影響等について伺う。		
	(2) 一時保育ルームの使用料を見直す理由について (要旨) 条例改正に至った理由、市内在住者と市外在住者の使用料を条例で明記するに至った理由について伺う。		
2 学校図書館について			
(1) 学校司書について (要旨) 新年度にモデル事業の実施が上げられているが、あまりに規模が小さい。人材育成の意識はあるのか。学校図書館法の趣旨への見解も含めて問う。			
(2) 空調整備について (要旨) 中学校で学校図書館を活用するためには空調設備が必要である。			
3 中学校部活動について			
(1) 中学校部活動の現状について (要旨) 教員のスポーツ指導者としての研修や専門性、休養日等、部活動の現状と課題の認識を問う。			
(2) 外部指導者の活用について (要旨) 外部指導者の研修、待遇、役割、今後の部活動指導員としての位置づけ等、現状の課題と今後の見通しを問う。			

発言順位	12	議員名	久枝陽一(民主連合)
発言事項	<p>1 待機児童対策について</p> <p>(1) 平成28年度に受入枠1,000人分の拡充が実現できない理由について (要旨) 本年度の待機児童対策として上げられていた受入枠1,000人分の拡充が実現できない状況になっていますが、その理由を伺います。</p> <p>(2) 平成28年度の待機児童対策での見込み違いについて (要旨) 受入枠を1,000人分拡充すれば待機児童がなくなるとした見込みに誤りがあったわけですが、その原因を伺います。</p> <p>(3) 来年度の受入枠1,200人分拡充に向けた取り組みについて (要旨) 来年度は1,200人分の受入枠を拡充するとのことですが、1,200人とした根拠と実現に向けた取り組みを伺います。</p> <p>2 オフロードバイク隊の設立について</p> <p>(1) オフロードバイク隊の設立について (要旨) 災害時に効率的な情報収集を行うために、他市で事例のあるオフロードバイク隊を設立するべきと考えます。</p>		

発言順位	13	議員名	松井 久美子 (公明党)
発言事項	<p>1 議案第27号 平成29年度明石市一般会計予算 本のまち明石推進事業について</p> <p>(1) 本のまち明石の目指すものについて (要旨) (仮称)本のまち検討委員会や(仮称)本のまち推進条例を制定し、どのように本のまち明石を構築していくのか。</p> <p>(2) 本のまち明石を推進するための具体的な取り組みについて (要旨) 家庭、学校、地域における読書活動をどのように進めていくのか。</p> <p>2 明石港東外港地区再開発計画について</p> <p>(1) 明石港東外港地区再開発計画検討委員会の取り組み状況と今後の展開について (要旨) 県民アイデアの募集を受け、検討委員会の取り組み状況と今後の展開は。</p> <p>(2) 明石港東外港地区再開発計画における本市のかかわり方について (要旨) 海のまちの特性を生かした施設や魚を普及する教室を誘致するなど、本市が目指すまちづくりを県にしっかりとアピールすべきである。</p> <p>(3) 淡路島へのサイクリングや、観光オルレコースの検討を。 (要旨) シティセールスの観点から、県民アイデアの募集に加えて、淡路島との交流や市内のサイクリングコース、散策のための観光オルレコースの整備を検討してはどうか。</p> <p>3 2017年1月からのセルフメディケーション税制について</p> <p>(1) セルフメディケーション税制導入の背景と概要及びスイッチOTC医薬品について (要旨) セルフメディケーション税制導入の背景と概要及びスイッチOTC医薬品とは何かを説明することが必要である。</p> <p>(2) セルフメディケーション税制の適用を受けるための要件及び従来の医療費控除制度との違いについて (要旨) セルフメディケーション税制の適用を受けるための要件と従来の医療費控除制度との違いを説明することが必要である。</p> <p>(3) 市民への周知について (要旨) 市民生活に直接かわる内容だが、制度がわかりにくいいため、市民へのわかりやすい周知が必要である。</p>		

発言順位	14	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	1 明石市子ども総合支援条例の施行に向けて		
	<p>(1) 学校や事業者への周知について (要旨) 条例の趣旨や環境整備に向けた周知をどのように進めていくのかを聞く。</p> <p>(2) 相談支援体制の整備について (要旨) 子ども自身が安心して相談できる場として、公設民営の子どものための人権オンブズパーソン制度が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 広報・啓発について (要旨) 子どもたちの心に響くリーフレットの作成や啓発活動をどのように進めていくのかを聞く。</p> <p>(4) 不登校及びひきこもりに関する取り組みについて (要旨) 昨年9月に文部科学省から通知された不登校児童生徒への支援のあり方について、さらには、12月7日に成立した教育機会確保法についての認識と今後の具体的な取り組みについて問う。また、本市のひきこもりの現状と今後どのような施策を講じていくのかを問う。</p>		
	2 防災・減災対策について		
	<p>(1) 本市の防災・減災の体制について (要旨) このたび示された組織改正案では、総合安全対策局は総務局に統合され、室の扱いになるが、危機管理体制の後退にならないのか。庁内横断的な役割を担えるのか、水防対策も含めた本市の危機管理体制を問う。</p> <p>(2) 明石市地域防災計画について (要旨) 計画に示されている検討項目や仕組みづくりの進捗状況と課題を問う。</p> <p>(3) 指定緊急避難所の備蓄品について (要旨) 備蓄品、保管場所、飲料水の確保等について市の見解を問う。</p> <p>(4) ハザードマップの活用について (要旨) 市民への周知はできているのか。また、英語版も作成されているが、どのように配布し活用しているのか。外国人のみならず、子どもや高齢者にもわかりやすい、やさしい日本語版が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(5) 防災・減災教育について (要旨) 多くの地域で防災・減災に関する訓練や研修会などが活発に行われている。庁内や地域間の情報共有はできているのか。また、学校での防災・減災教育はできているのか、現状と課題を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>3 誰にでもわかりやすいサインの整備について</p> <p>(1) 毎日の暮らしを支えるサインの整備について (要旨) 高齢者や障がい者、子育て中の方、外国人など、さまざまな情報取得の特性に配慮し、誰もがわかりやすく、利用しやすいユニバーサルデザインの視点を持つサインの整備が必要だと考えるが、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 本市の魅力を高めるサインの整備について (要旨) 市制施行100周年に向けて、観光案内板の充実や、文化施設や主要駅からの案内表示の多言語対応、都市景観に配慮した色やデザインに統一するなど、本市の魅力を高めるためのサインの整備が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 市民参画による検証について (要旨) 市民とともにまち歩きをしながら、サインを検証し、整備していく機会が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(4) (仮称)明石市サイン基本計画の策定について (要旨) こうした整備を進めるにあたっては、所管部局が多岐にわたるため、サイン整備の基本的な考え方を示す(仮称)明石市サイン基本計画が必要であると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 市長目安箱、(仮称)たこポストの設置について</p> <p>(1) 市長目安箱、(仮称)たこポストを設置しないか。 (要旨) いつでも、どこでも、誰でも、市長に対して市民の皆様が感じている声を直接届けることができる仕組みづくりが必要ではないか。</p> <p>2 防災・減災対策について</p> <p>(1) 水・食料・トイレの具体的な備蓄箇所・備蓄数量について</p> <p>(2) 備蓄はおおよそ何人が何日利用できる数量か。 ((1)、(2)要旨) 大災害が発生した後、重要になるのが、水・食料・トイレの3本柱と考える。この3本柱が確保されていれば、当面の避難生活は何とか乗り切れると考える。市は、これらをどの程度備蓄しているのか。</p> <p>(3) 各小学校区の井戸水の確保について (要旨) 災害時におけるコンビニ等と同様に、事前に民間の井戸の所有者と災害時応援協定を結んでおき、いざ発災となれば、その井戸を地域住民のために開放していただく方法がとれないか。</p> <p>(4) 備蓄倉庫を各小学校区単位で設けないか。 (要旨) 各小学校区単位であれば、地域住民の人数や年齢層、男女比、そして障がいのある方なども事前にある程度は把握できるため、より詳細な必要物資を準備できるのではないか。</p> <p>(5) 明石工業高等専門学校と連携強化し、防災士の育成講座を開設しないか。 (要旨) 防災リテラシーとは、災害を理解し、適切な対応をとれる能力のことである。ぜひ本市として、そのような市民向け講座の開講を明石工業高等専門学校にお願いし、防災士が育成できるような仕組みをつくらないか。</p>		

発言順位	16	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>1 福祉の充実について</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの待機者解消について、どのように考えているのでしょうか。</p> <p>(要旨) 特別養護老人ホームは、重度の要介護者の長期入所に対応できる施設として需要が高く、待機者は全国で50万人を超えるそうです。待機者解消をどのように考えているのでしょうか。本市での待機者の状況と今後の対策をお聞かせください。</p> <p>(2) 子どもたちの貧困の解消に向けてどのように取り組まれているのでしょうか。</p> <p>(要旨) 貧困問題は健康や学力にも悪影響を及ぼすため、健全な青少年育成の観点からも解消しなければなりません。今日、子どもたちに見えない貧困が広がっています。我が国では6人に1人が貧困状態にあり、貧困の連鎖を断ち切るためにも見えない貧困を把握し、本格的な対策を講じなければなりません。本市の取り組み状況をお聞かせください。</p> <p>2 2017年4月の組織改正について</p> <p>(1) 改正案で示されている都市局では、会計手法の異なる部署の統合が行われます。行政運営はスムーズに行われるのでしょうか。</p> <p>(要旨) 複式簿記・公営企業会計の下水道部と単式簿記・官公庁会計の土木交通部、都市整備部が一つの局となるが、整合性のとれた行政運営ができるのでしょうか。</p> <p>(2) 改正案で示されている市民生活局には多くの部署が統合されることになるが、人員不足により行政サービスの低下を招くことはないのでしょうか。また、5つの部を一人の局長で統括することができるのでしょうか。</p> <p>(要旨) 保健所と動物愛護センターの新設なども含め、多数の移譲事務もあり、所管事務が多岐にわたることに多難を感じます。特に動物愛護センターを担当する環境総務課など、従来 of 事務に加え新規事業をさらに担うことを心配します。一方、健康推進課はなぜ分割されるのでしょうか。これから団塊の世代が70歳を迎える高齢社会に逆行するかのように生涯学習関連の部署を1課に縮小する理由も含めて、改正後の対応をお聞かせください。</p>		

発言順位	16	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>3 住むところと働くところづくりについて</p>		
	<p>(1) 健全財政に不可欠な人口増加策として、住宅供給増加策や所得増加策がありますが、そのために不可欠な企業誘致、地場産業振興策はどのように行われているのでしょうか。</p>		
	<p>(要旨) 30万人都市を堅持するためには、住むところと働くところづくりの工夫が必要です。本市も近年の人口微増に甘んじず、安定した税収確保のための、人口を35万人とする民活ベッドタウン構想、雇用・所得増加のための企業誘致、地場産業育成策など、好循環を促すビジョンを設定してはいかがでしょうか。今後の展開をお聞かせください。</p>		
	<p>4 (仮称) 野良猫抑制条例について</p>		
	<p>(1) 野良猫抑制の推進に有効な条例制定はできないのでしょうか。</p> <p>(要旨) 一般的にふん害などの影響から野良猫は悪者扱いです。神戸市では今年4月から全国初の猫との共生に関する条例を施行しようとしています。本市では来年4月に動物愛護センターの新設を予定していますが、これを機に、繁殖を抑制し、殺処分が減少する環境づくりに積極的に取り組むことはできないのでしょうか。</p>		
<p>5 成人式での市長の言動について</p>			
<p>(1) 来年度の式典取りやめを示唆した市長の言動について</p>			
<p>(要旨) このたびの市民会館での式典冒頭、挨拶に立たれた市長は大きな声で来年度の式典の取りやめを示唆されたそうですが、市民の皆さんが納得されると思いますか。成人式は誰のために行われるのでしょうか。もし、ざわついていたら会場で静粛を求めるのは当然ですが、来年度以降の成人式の取りやめをほのめかしながらどなりつけられた新成人の方々は、晴れの成人式なのに相当なショックを受けたと思います。</p>			

発言順位	16	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>6 公園の適正利用について</p> <p>(1) 独占利用行為の現状認識について (要旨) 高丘東公園では、年間を通じて、土曜日・日曜日の午前10時から夕方5時まで、軟式少年野球チームがグラウンドをほぼ独占利用され、お子さんを連れた利用者は危険を感じ十分な公園利用ができずにいます。今後の対応やこれまでの状況把握もあわせてお聞かせください。</p> <p>(2) けがをした場合の責任について (要旨) ボールが飛んできてけがをした場合、誰が責任を取るのでしょうか。ご家族で過ごされたい方々にとって、ボールがいつ飛んでくるのか分からない状況では安心して利用できないと思います。本来の公園のあり方からすれば安全面にも大きな問題があるのではないかと疑問を感じます。市の所有する公園内での安全対策についてお聞かせください。</p> <p>7 中学校給食（給食センター）の安全安心対策について</p> <p>(1) 異物混入や食中毒対策は万全なのでしょうか。 (要旨) 他市では中学校給食で異物混入や食中毒が起こり、改めて安全対策の重要性を感じています。本市の中学校給食は大丈夫なのでしょうか。</p> <p>(2) 食物アレルギー対策は万全なのでしょうか。 (要旨) 食物アレルギーは、ショックを起こし、死に至ることもあるため、万全を期して取り組んでいただきたいものです。本市の安全対策をお聞かせください。</p> <p>(3) 食材の地産地消はどこまでできるのでしょうか。 (要旨) 安全安心でおいしい食材として、市内で生産された食材は最もふさわしいと思います。数量の問題、価格の問題が生じるかも知れませんが、創意工夫で取り組んでいただきたいものです。ぬくもりのある、おいしい給食の提供に向けた取り組みをお聞きかせください。</p>		